

2021年度WCRP日本委員会平和大学講座
「宗教はコロナ後の共生社会をどう目指すか」

2つの災害を観察する

2022年3月10日（木）

真宗大谷派教学研究所研究員
御手洗隆明



自己紹介

- 現在 真宗大谷派教学研究所研究員
- 日本宗教学会員
- 宗教者災害支援連絡会世話人

難波別院教務部(06・6600-5800)まで。なお、先行予約の受付は、9月30日(日)まで。

おたのしみな表情
御手洗 隆明
(教学研究所研究員)

あります。『まんが伝承の中の親鸞』は、お内仏の前で祖父が孫に語りかけるかたちで展開しています。浄土真宗は在家仏教です。聖人の教えや伝記は聖人の世界ばかりではなく、日々の家庭生活において相伝(受け)

●その時の言葉で
第1話で聖人の生涯伝いですが、聖人出家得度(に)しています。今遊るの心境がうかがえるし、伝承は、その一面なので古く伝承で、よく紹介されています。近代の価値観に立つ

お母さんは、恐れだった...
無常迅速の理もあり...
今母、御心をまじり出陣の跡にいたるよとありました。

第2話「出家得度への道」より

謎多い「坂東曲」

谷派発表)が参拝した。同派は配布冊子で坂東曲の由来を「詳細は明らかではありません」としつつ、鎌倉〜南北朝期の3代寛如(1270~1351年)の頃の関東の門弟による修行が始まりとの説を紹介している。親鸞の越後流罪時説の言及は見当たらない。

東本願寺由来に諸説

同派教学研究所の御手洗隆明研究員によると、関東門弟説は寛如が著した「改邪鈔」の記載で、東国から上落した門弟が「なまれる坂東さえ」で親鸞の遺徳をたたえたという故事などによる。門弟の激しい動きは一遍の踊り念仏などの影響もあると指摘されているという。

一方、親鸞の越後流罪時説は主に報道などで伝えられ、古くは1911年の宗教専門紙に記事がある。同じ船上念仏でも親鸞の関東伝道時とする説もある他、8代蓮如が福井の吉崎から小浜に退去する船上での説話と混同された可能性もあるという。

ただ史料上で「坂東曲(節)」が初めて登場するのは本願寺

【中津川甫】

宗教者として医学生と対話する

終末期がん患者どう支えるか－医学生と宗教者が「死」を考える
10年以上続く滋賀医科大の名物講義「医の倫理合同講義」



記事本文へ

「医の倫理合同講義」で事例を基に議論を深める医学生と宗教者たち。右は講師の長倉伯博住職＝11月13日、滋賀医科大（小野木康雄撮影）



かん-ざつ【観察】

1 智慧によって対象となるものを正しく見きわめること。

* 浄土源流章 「観察是観、毘婆舍那故」

2 『楞伽經』に説く四種禅の一つ、観察義禅のこと。人は五蘊がかりに和合した仮の存在であり（人無我）、存在もまた条件によって生じた実体のないもの（法無我）という理を知って、この義に随って他のものをも観察する禅。

* 元亨釈書 三〇・序説志 「攀縁・観察・愚夫所行、単伝直指如来禅清」

（例文仏教語大辞典）

「かんざつ（観察）」

対象を見るとこと。対象を心に思い浮かべ見ること。五正行の一。

（浄土真宗辞典）

ただ、そこにいる人



観察（かんざつ）者の役割

一人（いちにん）と向きあう

- 被災者に何ができるのかを問えば、結局は人と人との関係にいきつく。
- 状況がどのようなになろうとも、1人の人間が「苦」を受けることに変わりはない。宗教者が接点を持てるとすれば、この1点以外にはない。
- その人が「苦」を言葉にする時がくる。
- 無理に「教え」に結び付ける必要は無い。



間に合わない時代のなかで

- 毎年発生する「これまでに経験したことのない」自然災害。
 - ⇒備えも経験値も間に合わない。
- 生殖医療の進歩による生命の選別と人間の資源化。
 - ⇒ブレーキになるような社会倫理の構築も間に合わない。
- 2年以上続く新型コロナウイルス感染症という厄災。
 - ⇒コロナウイルスとどう折り合いをつけるのか？
 - （放射性物質のわからなさと同様）



■ 起こり得ること

- 小松左京原作 『日本沈没』 (1973年)



- 『復活の日』 (1980年)



「どんなことにだって終わりはある。…どんな終わり方をするかだが」

I

2つの「あの日」——2011.3.11東日本大震災

二〇一一年三月十一日に発災した東日本大震災（三・一一）から十年が過ぎた。今年の震災の日までの犠牲者は、全国で死者一万五八九九人（昨年と同数）、行方不明者二五二六人（三人減）、震災関連死者三七七五人（十八人増）を数え、最大約四十七万人いた避難者は現在でも四万一二四一人（六四九六八人減）に及ぶ（読売新聞、本年三月十二日）。また、発災の日に出された「原子力緊急事態宣言」は未だ解除されず、災害は今も続いている。



3月12日 東京電力福島第一原発爆発事故

原子力緊急事態宣言

平成23年(2011年)3月11日16時36分、東京電力(株)福島第一原子力発電所において、原子力災害対策特別措置法第15条1項2号の規定に該当する事象が発生し、原子力災害の拡大の防止を図るための応急の対策を実施する必要があると認められるため、同条の規定に基づき、原子力緊急事態宣言を発する。

(注)

現在のところ、放射性物質による施設の外部への影響は確認されていません。したがって、対象区域内の居住者、滞在者は現時点では直ちに特別な行動を起こす必要はありません。あわてて避難を始めることなく、それぞれの自宅や現在の居場所で待機し、防災行政無線、テレビ、ラジオ等で最新の情報を得るようになしてください。

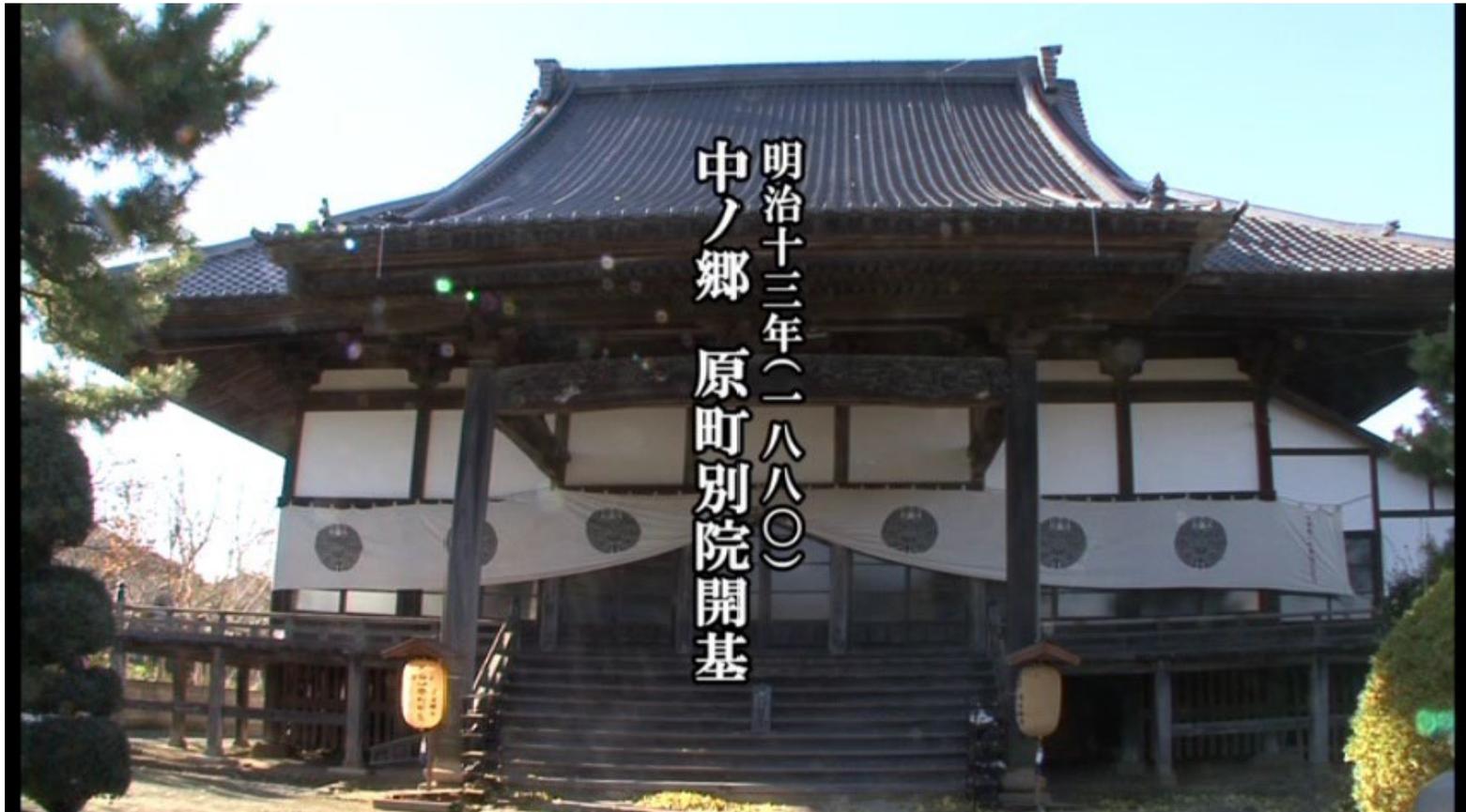
繰り返しますが、放射能が現に施設の外に漏れている状態ではありません。落ち着いて情報を得るようお願いします。



真宗大谷派原町別院

(南相馬市原町区)

2016年まで40回以上訪問。



原町中央産婦人科医院

高橋亨平医師

2013年1月死去享年74歳

南相馬市原町区



- 原発事故直後、物資の流入も途絶え、避難しなかった1万人の住民が残る南相馬市で、市内の産婦人科で唯一開業を続け、安心して出産し育児ができるよう、妊婦たちを励ました。
- 放射能から妊婦と子どもを守るため、分娩室を鉛入りのカーテンを張り巡らせ、除染のための南相馬除染研究所を設立し、内部被ばく検査に必要な医療機器を市内の病院に設置するよう尽力した。
- この頃、末期ガンが見つかり余命半年の告知を受けたが、診療をやめなかった。震災前より地域医療の危機を訴え、「亨平先生」と親しまれていた高橋医師は、原町別院の門徒であった。



- 子どもたちを守るために何が必要なのか。放射性物質とは何かを知り、測定をし、除染をすること。検査をし、その結果を共有する。
- 全てが原発災害のなかで生きるための知恵であり、この土地で、共に生きるという強い意志のあらわれ。
- 門徒が余命をかけて示したこの土地での生き様が、別院の今につながっている。

■ **安心できる「場」**（環境）
をつくる



安心して集まることができる**環境**を回復するために、
別院創立時よりあった境内樹木をほとんど伐採した。

2013年3月

現在



南相馬市立病院副院長（当時）及川友好医師

脳卒中発症率が65歳以上で
約1.4倍。

35歳から64歳の壮年層で
3.4倍にまで上がっています。

非常に恐ろしいデータが今上
がってきていますね。

衆議院2013/5/8震災復興特別委員会参考人
南相馬市立総合病院：副院長 及川友好(脳神経外科)



南相馬の医療の現況2/4脳卒中増加のレセプトデータ



及川友好医師の報告
国連世界防災会議パブリックフォーラム
「大規模避難における問題点」(2015年3月15日、仙台)

「知り得たことを患者と共有する」(共に考える)



銘記すべきこと
Please don't forget

原発事故は起こり得る
It is no doubt Nuclear power plant
will be out of order

社会構造の破壊により
高齢化は促進する
Social structure will turn to
be aging society after mass
Evacuation

大規模避難は深刻な悲劇(災害関連死)を引き起こす
Mass evacuation itself makes
severe tragedy
(disaster-related death)

17の原子力発電所
51基の原子炉

Red circles indicate NPP in Japan



「数字は正確に」 (ツイッターに本格参加)



Norichika Horie @NorichikaHorie · 2013年8月30日

...

宗援連

佐々木さんによれば、ある原発周辺地域の寺院の信徒の方が1ヶ月の間に7人自死されたそう。竹島先生によると、「震災関連自殺」の定義に左右される難しさがあり、矛盾する数字があるそう。被災地での自殺防止活動について改めて宗援連で取り上げるべきではないかと島蘭先生談 (@懇親会)。



1



13



何もせんほうがええ

...

@MITARAI_H

返信先: @NorichikaHorieさん

@NorichikaHorie 失礼します。自死7名は1ヶ月間でなく、今年1~6月の数字です。当日は私も参加していましたが、佐々木さんの報告もそうなっていました。7名が自死されたという深刻さに変わりはありませんが、ぜひご確認願います。

午後2:50 · 2013年8月31日 · Twitter Web Client



私にできる震災支援を

2013年3月1日に初めて被災地訪問

①映画『土徳流離』（青原さとし監督、事務局は原町別院）

多様な人々がそこにいることも忘れられている。

住み続ける人、帰還を断念した人、どこにも行き場所の無い人、
それぞれの人のためにこの映画はある。

②真宗大谷派仙台教区教化事業「相馬親鸞教室」

③今回の震災で何を見聞き、何を学んだか。

- 過去を知り、未来を考えるために、今を記録する。
- 伝えられない大切なことを伝える（学際的な場に立つ意味）。

富山県砺波からの支援者の言葉

- 「私たちのテントに次々と来訪客がおとずれました。聞いてみると200年前に私たちの北陸から移民した人の子孫でした。みなさん自分の先祖の故郷のことを教えてほしいとせがみました。」



- 「私はなぜ真宗門徒なのか」

「ご先祖様に申し訳ない」「先祖のことを知りたい」



「真宗移民」の記憶を呼びもどす

後に記録映画『土徳流離』制作につながる。

映像叙事詩

ど とく りゅう り

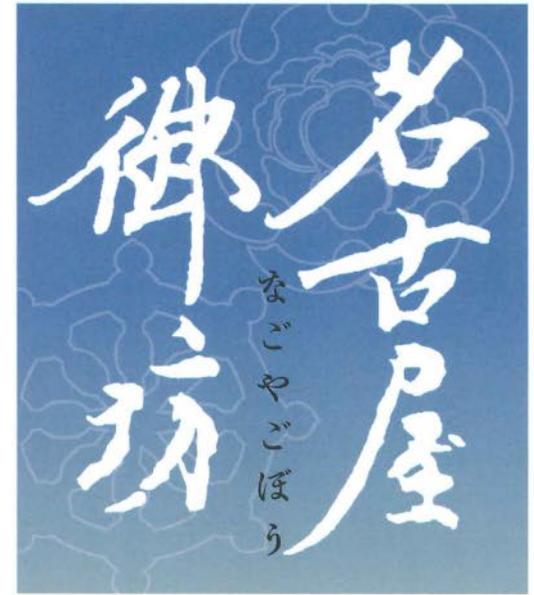
土徳流離

総大将出陣 大手門前

～奥州相馬復興への悲願～

携帯仏

企画・「土徳流離」制作実行委員会 製作・民族文化映像研究所 監督・青原さとし



発行所
宗教法人 真宗大谷派名古屋別院
代表者 藤井正芳

〒460-0016 名古屋市中区橘2-8-55
tel.(052)321-9201 fax.(052)321-3184

●東別院ホームページ「お東ネット」
<http://www.ohigashi.net/>
●購読料(送料共)一部 150円・1ヶ月1500円
郵便振替00870-0-37195

2月

2018
vol.619

「人生講座」抄録 中村仁一 3面

別院だより 「初鐘」報告 5面

出版案内 ・『信道』2016年度
・リーフレット「お彼岸」 8面輪轉りんてん

のうらにあり乍ら

第49回

真宗大谷派教学研究研究所研究員

御手洗 隆明さん

真宗大谷派原町別院(福島県南相馬市原町区)は約二百年前に始まる北陸真宗移民ゆかりの寺院である。一九〇二(明治三十五)年四月に別院となり、二〇〇一年に建立百周年修復記念法要を厳修した。「あの日」まで、別院のある地域は緩やかに過疎化しながらも、比較的孩子の数が多く教育にも熱心な、農業を中心としたおだやかな土地柄を維持していた。

あの日、二〇一一年三月十一日の東日本大震災と翌十二日の東京電力福島第一原子力発電所爆発事故により、南相馬のある浜通り一帯は地震、津波、そして原発事故による多重災禍を蒙り、原町別院は本堂などが半壊した。原発事故について正確な情報はなく、自衛隊までが撤収するなか、南相馬への物資の流入は途絶え、避難せず

に残った住民は棄民状態になったという。

原町別院は爆発した原発から北へ二十三キロに位置する。別院輪番の留守居として地元の住職衆・門徒衆から「院代さん」と呼ばれている木ノ下秀昭氏は一時県外に避難したが、避難先に門徒から法務の依頼が入ってくるようになり、四月に別院へ戻った。

「毎日、門徒さんが寺に来ました。被災し、多くの犠牲者が出た悲しみと放射能への恐怖、さまざま不安を抱えて集まってくる。ここでその話をするだけで少し落ち着かれる。法務だけではなく、心のケアをするためにも私はここにいる必要があります」。

避難区域を目前にした原町別院は、文字通り最前線の寺院となった。院代さんは風評被害を警戒

東日本大震災から7年 ◆1

はら まち
原町別院の今

= 被災当事者になる =

2016年4月14日・16日 熊本・大分地震



伝えられないつらさ



地震の影響で陥没し、通行止めになっているJR天神山駅前の市道=21日午前10時50分、由布市内町内

熊本地震

気象台は「地震活動は依然として活発。揺れの大きかった地域では地盤が緩んでいて」と言っている。土砂災害に十分注意してほしい」と呼び掛けている。

気象台によると、降り始めも出た。

前線も湿った空気の影響で大分県内は21日、全域で雨となった。熊本や大分で続発する地震で、家屋などに被害を受けた由布市や別府市も時折強い風雨に見舞われた。由布市は一部地域に避難勧告、大分地方気象台は別府や由布、中津の他、玖珠町を除く西部と南部に大雨警報を出した。同日午前には県中部を震源とする地震が相次ぎ、別府市では同日1時までに震度3以上を5回観測した。

大雨753世帯に

由布市が避難勧告

土砂災害の危険性が高い一部地域に避難準備がなされた。県災害対策本部によると、午前7時現在、県内の避難者数は別府や由布など8市町の952人、気象台によると、21日の県中部を震源とした5回の地震は、別府市で震度4を1回、震度3を4回観測した。14日の熊本地震以降、県内で震度3以上を観測したのは計6回になった。震度1以上の地震は、熊本県で21日午前9時までに計752回に上っている。

気象台によると、21日の1時間雨量の予想は多い所。地震が頻発している県で水道水が濁って飲まなくなっていること、復旧の遅い自給自給体や日本水産協会の取材で分かった。熊本は全国有数の地下水源、水道水の8割を地中から、汚泥のろ過設備が少ない。汚濁は地震で返された強い揺れが、自然に水質が改善のを待つ必要がある。災害時に強いとされた地下水源の陥没が露れた形となった。

厚生労働省によると、県では20日現在、約70世帯のうち約9万世帯で水が濁り、水道管の損傷か、水が濁り給水自体できない所もある。断水は解消した山都町では千世帯、美里町では約半で濁った水が出てい

www.oita-press.co.jp

大分合同新聞

4/21 夕刊 木曜日

創刊1866年(明治10年)
大分合同新聞社
〒870-8509 大分市西町3-9-15
© 大分合同新聞社 2016
大分 097-536-2121 別府 0977-22-2121
FAX 097-538-8674 FAX 0977-25-1230

朝夕刊 完全連続紙
単独販売の朝刊、夕刊、統合版はありません。

Gate
HPで紙面公開



連会
援告
宗報

大分の被害 伝わらず

マイノリティにも目を

宗教者災害支援連絡会
(宗援連)は1日、東京都文京区の東京大学山手会館で第26回情報交換会

を開催。先月発生した熊本地震を受け、学者・宗教者が現地での体験を

大阪大学教授の稲場圭信氏は4月14日の前震直後から動きだし15日に九州に入った。被災者も15日の時点ではそれほど物資が大変になるとは思っていなかったが、16日の本震を受け買いだめが起きた」とし、支援に持っていた食糧も途中で足りなくなったという。

稲場氏は熊本市西区の北岡神社が緊急避難所となったことや、中央区の日本福音ルーテル教会で傾聴喫茶「カフェ・デ・モンク」が開設されたこと、避難所になっている益城町総合体育館で毎日トイレ掃除をする僧侶など宗教界の活動を報告。

一方、大きな被害を受けた社寺の住所や場所を不用意に明かすことで盗難等の危険を誘発することも懸念した。

世界宗教者平和会議(WCRP)日本委員会

の篠原祥哲氏はこの日の朝まで西原村に入っていた。「危険判定を受けた建物は1万2千棟。今後そういった家屋の解体、がれき撤去などのニーズが



大規模災害における宗教者の活躍が再認識された

自身の安全を確保



情報の集約と発信

(「押しかけボラ」への後方支援)

炊きだし情報 活動記録

※後方だからできる支援

熊本・大分災害救援通信 2

2016.1.19

【熊本】 <http://www.sendaikyouku.net/butu/>

●チーム佐々木改め「チーム福島」(いわきの藤内氏(教伝1期生)も参加中)



「この笑顔を守りてーんだよね」



(先日、6番目のお子さんが誕生)

昼 上益城郡御船町
御船昭和保育園

スタッフ6名で400食



←想定外の自衛隊 とコラボ

夜 熊本市東区御領託麻西小学校

スタッフ10名で300食

チーム福島はカレー
自衛隊は鮭のペッパー焼き

【大分】NHK大分「湯布院は自主避難者200人」。日豊教区御遠忌は本日より。

(情報提供 相馬親鸞教室・仙台仏青・宗援連)



東西をつなぐ



The image shows a screenshot of a Twitter post. At the top, there is a blue header with the Twitter logo on the left and a search icon on the right. Below the header is a dark navigation bar with icons for home, mentions, hashtags, profile, and a compose button. The tweet itself is from a user named 島蘭進 (@Shimazono). The text of the tweet discusses disaster relief efforts for the Great East Japan Earthquake, mentioning the support of various Buddhist sects and the damage to the Kōshō-ji temple. It includes a link to a website and a timestamp of 14:12 on April 25, 2016.

 **島蘭進**
@Shimazono

【熊本地震: 宗教者の支援】真宗大谷派仙台教区等有志は上益城郡益城の本願寺派光宗寺、宇城市豊野町の大谷派光照寺へ物資輸送。光照寺も被災し本堂全壊。副住職は臨床宗教師として救援に尽力。kakekomi.jp/archives/produ... 苦難の人達を前に大谷派・本願寺派の境は超えていける。

14:12 - 2016年4月25日



災害復興の歩みを宗門の歴史に残す

『真宗』2018年9月号「大規模災害と宗門」

せを受けた。今回の大阪地震と豪雨災害において、本山は教区と連携し、また京都市との協定に対応できる体制があった。遠くない次の大規模災害に向けた大谷派宗門と地域との新たな連携が生まれようとしている。

東日本や九州などの災害支援で培われたつながりも活かされた。東北と熊本の被災地支援を続けている大阪大学の支援チームがSNで支援物資の提供を呼びかけると、熊本県宇城市の大谷派寺院と行政などがこれに応じ、土嚢袋約二千枚が大阪の社会福祉協議会に届けられた。支援を受けた側が支援する側となり、行政と支援者との連携により、必要な物資を必要とする場所に混乱なく届けることができた。

熊本地震三回忌

この熊本県宇城市は二〇一六年四月に震度六弱と震度六強の地震に遭い、現在も復興途中にある。去る四月十四日、宇城市で豊野宗教会連合による熊本地震復興祈願・追悼法要が、かつて避難所であった豊野公民館を会場とする「復興祭 in 豊野」のなかで営まれた。政教分離の原則により公共施設での宗教行事を認めない自治体が多いが、ここにその慣習はなく、



熊本地震三回忌の「復興祭」(著者撮影)

そこが特別な場所であること

- 被災者に何ができるのかを問えば、結局は人と人との関係にいきつく。
- 状況がどのようなになろうとも、1人の人間が「苦」を受けることに変わりはない。
- 宗教者が接点を持てるとすれば、この1点以外にはない。

その人が言葉にする時がくる。

そこに立ち会えるか？

II 新型コロナウイルス感染症の災害



2月19日
水曜日

京都新聞社
The Kyoto Shinbun Co., Ltd.
発行所 〒604-8577
京都市中京区烏丸通奥川上ル

湯の花温泉
松園
京都府亀岡市
湯の花温泉
ONZ

新型肺炎 10代男性感染 和歌山で国内初陽性医師の子

和歌山県は18日、新たに3人の新型コロナウイルス感染症を確認したと発表した。うち1人は国内初の10代。他は、感染者が相次ぐクルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス」で災害派遣医療チーム(DMATT)として活動した30代の男性看護師と、医師や患者らの感染が分かった済生会有田病院(同県湯浅町)に入院していた60代男性。県内の感染者は12人になった。(3面に表層漂着など、15面に緊急経済リポート、波紋、新型肺炎-7、33面に関連記事)

県によると、10代男性は既に感染が分かっている有田病院の外科医の息子。父親の入院後の14日から学校を欠席し、濃厚接触者として17日にウイルス検査を受けたところ、陽性の結果が出た。症状はないという。男性看護師は13、15日に船の内外で発熱患者の診察補助などに携わった。15日に新幹線で新横浜駅から新大阪駅まで移動、同僚の車で和歌山県内の自宅に戻った。翌16日に発熱した。

60代男性は先に感染が判明した別の入院患者(同室)だった。14日の検査では陰性だったが、16日に発熱したため再検査し、陽性となった。

3人は入院中で、男性看護師と60代男性の病状は安定している。

これまでに県内では、有田病院に勤務する外科医や入院患者の8人のほか、最近病院を訪れておらず、

日本の新型コロナウイルス感染者数	
国内での確認例	61
チャーター機帰国者	13
クルーズ船の乗船者	542
合計	616
海外での日本人死者	うち死亡 日本人1
(中国・武漢での疑い例)	1

※18日午後

新型コロナウイルス感染者が確認された都道府県	
北海道 2人	京都府 2
千葉県 4	大阪府 1
東京都 23	奈良県 1
神奈川県 6	和歌山県 12
愛知県 7	沖縄県 1
三重県 1	中国に帰国後判明 1

※18日午後
(チャーター機帰国者、クルーズ船の乗船者を除く)



新型肺炎・京滋
波紋

訪日外国人の急減で4月から減便する京都系統の関西空港リムジンバス(京都市南区・京都駅八条口)

京都-関西バス 1割減便

新型コロナ、大に伴う虫受け、関西ムジンバス(京都市南区)にも運行方針を18日方針を18日新を振るう新

大阪バス

交通にも及

京阪バス

の関西空港

1プの大坂

している

ス。同ウ

関西を訪れ

国を中心に



大分県の新型コロナを数字で追う（ツイッターの活用）

2020.4.8～ 午後3時（県発表時間）

大分県における新型コロナウイルスのPCR検査実施人数（R2.4.7 21：30更新） - 大分県ホームページ pref.oita.jp/site/covid19-o...

「4月7日は新たに45人のPCR検査を実施し、陰性43人、陽性2人でした。
これまでに累計1,907人実施し、陰性1,872人、陽性35人（うち退院8名）。
分母をだしているだけマシか...



pref.oita.jp
大分県におけるPCR等検査実施人数及び患者状況（R4.2.28 15時00分更新）

午後8:26 · 2020年4月8日 · Twitter Web App

大分県における新型コロナウイルスのPCR検査実施人数（R2.4.7 21：30更新） - 大分県ホームページ pref.oita.jp/s
「4月7日は新たに45人のPCR検査を実施し、陰性43人、陽性2人でした。
これまでに累計1,907人実施し、陰性1,872人、陽性35人（うち退院8名）。
分母をだしているだけマシか...



pref.oita.jp
大分県におけるPCR等検査実施人数及び患者状況（R4.2.28 15時00分更新）

672 2 2



大分県2月新規感染者数/退院（療養解除）者数

2022 **2** February

日	月	火	水	木	金	土
30 411/-299	31 377/-311	1 459/-328	2 455/-350	3 391/-339	4 500/-362	5 446/-385
6 388/-390	7 322/-430	8 523/-380	9 391/-456	10 455/-489	11 建国記念の日 432/-457	12 336/-420
13 365/-408	14 283/-391	15 368/-401	16 370/-392	17 378/-452	18 312/-443	19 309/-419
20 230/-365	21 243/-346	22 312/-418	23 天皇誕生日 329/-274	24 313/-321	25 329/-307	26 360/-322
27 291/-302	28 264/-279	1 351/-294	2 392/-276	3 346/-318	4 341/-328	5 306/-328



(^-^)

何もせんほうがええ @MITARAI_H · 3月8日

...

大分県の新規感染者数と退院（療養解除）者数。

3月8日は退院306

死亡3名（70代2名、80代1名、共に持病あり）

重症0、新規中等症2人（30代女性、80以上男性）

未成年109、70代以上35

無症状32

家庭内感染109

全療養者2,504人

この5日間の療養者数2672→2649→2,627→2512→2504人

亡くなった3名に合掌

2022 3 March						
日	月	火	水	木	金	土
27	28	1	2	3	4	5
291/-302	264/-279	351/-294	392/-276	346/-318	341/-328	306/-328



「退院」

(^-^)

何もせんほうがええ @MITARAI_H · 2021年8月29日

twitter.com/asahi_oita/sta...

「8/29までに陽性者1人が亡くなり県内の死者は累計68人になりました。自宅で亡くなり死後に陽性と分かったとのことです。」

昨日比で退院者数229人増なんですが、これはいわゆる「退院」だけじゃなくて、病院外での療養に切り替えた数も含むのでしょうね。



朝日新聞大分総局 (湯吉)

@asahi_oita

返信先: @MITARAI_Hさん

「退院」で示されている数は、入院、宿泊療養、自宅療養、これら全ての療養を終えて日常生活に復帰した人の数です

病院を退院して宿泊療養に移ると入院中が1減り宿泊療養が1増える

↓

宿泊療養を終えると宿泊療養が1減り退院が1増える

午後3:45 · 2021年8月29日 · Twitter for iPhone

(^-^)

何もせんほうがええ @MITARAI_H · 2021年8月29日

返信先: @asahi_oitaさん

ありがとうございます。

(されど、自宅療養でも「退院」(-_-))



「中等症」がわからない

(^-^)

何もせんほうがええ @MITARAI_H · 11時間

...

この中等症患者2人は新規感染者に含まれるので公表されたのですが、療養中に無症状や軽症から中等症に悪化したり、酸素マスクが必要になった療養者の数はわかりません。病院と宿泊・自宅療養との往来は果たしてどのくらいなのか…。今のところ、病院入院以外からの死亡者はいない模様。

 **朝日新聞大分総局（湯吉）**  @asahi_oita · 3月8日

※中等症2人（30代の女性 80歳以上の男性）

※病床使用率 32.3%

※直近1週間の感染経路不明者割合 30.0%

※人口10万人あたりの新規感染者数 192.07人



現在のステージは、「**ステージⅢ**」です。

※各指標を基に総合的に評価

本日の状況⇒

	重症者用病床利用率	病床利用率	感染経路不明者割合 (1週間)	人口10万人あたり 新規感染者数 /週
本日の状況⇒	2.3% (1床/43床)	32.1% (163床/508床)	30.3% (638人/2,108人)	185.73人 (2,108人)
ステージⅠ	10%未満	10%未満	30%未満	5未満
感染者が散発的に発生				
・感染者が一定の範囲にとどまっている ・医療提供体制に特段の支障がない状況				

(^-^)

何もせんほうがええ @MITARAI_H · 2時間

...

twitter.com/oabnews_5ch/st...

「重症者が1人発生。本日発表分以前の感染者（70代）の症状が悪化し重症者に。重症者の発生は去年10月14日以来約5ヵ月ぶり。第6波では初めての発生。」

酸素マスクから人工呼吸器になったということですか。こんな具体例は勘弁してほしい(-_-)



OABニュース情報センター @oabnews_5ch · 4時間

【新型コロナ 続報⑦】

重症者が1人発生。本日発表分以前の感染者（70代）の症状が悪化し重症者に。重症者の発生は去年10月14日以来約5ヵ月ぶり。第6波では初めての発生。



粛々と情報を伝える



Hidenori Watanave, Ph.D.

@hwtnv

...

「ウクライナ衛星画像マップ」についてフジテレビ「めざまし8」の取材を受けました。現時点では、明日のあさ放送の予定です（変更になる可能性もあります）。 #Ukraine @mapconcierge



cesium.com

Satellite Images of Ukraine

This is a storytelling content about the invasion of Ukraine in 2022. Satellite images and 3D photogrammetric data from a variety of sources are collected an...

午後7:07 · 2022年3月9日 · Twitter Web App



(^-^)

何もせんほうがええ @MITARAI_H · 3月3日

...

現地にいなくてここまで知ることができる。



Hidenori Watanave, Ph.D. @hwtvnv · 3月3日

無事、放送されたようです。ネットで動画が公開されています。僕は後半に登場し、衛星画像+3Dマップを使った分析についてお話しています。news.yahoo.co.jp/articles/afd60...

[このスレッドを表示](#)



まとめにかえて

今日が、私が被災者となる前日かもしれない。
間に合わない。でも、何かできることがあるはず。
(真宗大谷派『真宗』2019年4月号)

戦時中に限らず、自分の命の終わりを国が決める場合がある。「死刑制度」は戦前の兵役と同じく国の制度であるが、その是非と功罪については様々な議論が続いている。刑の執行は法務大臣が決めるが、実務を担うのは、犯罪者の矯正を本来の役割とするはずの刑務官である。これまで被害者・加害者、執行する側に、その家族を含めて「当事者」がいることが見えていただろうか。それぞれの苦痛にどこまで想いを致していただろうか。

この問題に限らず、大災害や「死」など、私はいつ当事者になるかわからない。その時に備えようとするが、全く間に合っていない。それでも「間に合わない」ところに立てば、常に向きあっていける」「問いを持ち続けて生きていくことで自分が成長する」と先人の声が聞こえる。往生際まで問い続け、想い続ける生き方もあるようだ。

(教学研究員・御手洗隆明)



真宗大谷派『真宗』2019年4月号

戦時中に限らず、自分の命の終わりを国が決める場合がある。「死刑制度」は戦前の兵役と同じく国の制度であるが、その是非と功罪については様々な議論が続いている。刑の執行は法務大臣が決めるが、実務を担うのは、犯罪者の矯正を本来の役割とするはずの刑務官である。これまで被害者・加害者、執行する側に、その家族を含めて「当事者」がいることが見えていただろうか。それぞれの苦痛にどこまで想いを致していただろうか。

この問題に限らず、大災害や「死」など、私はいつ当事者になるかわからない。その時に備えようとするが、全く間に合っていない。それでも「間に合わない」ところに立てば、常に向きあっていける」「問いを持ち続けて生きていくことで自分が成長する」と先人の声が聞こえる。往生際まで問い続け、想い続ける生き方もあるようだ。

(教学研究所研究員・御手洗隆明)



震災と原発災害では被災者と支援者という関係があったが、新型コロナウイルスの疫災は、世界中が被災当事者であり、いつ私が感染するのか、それ以上に自分が地域の感染源になるかもしれないという恐怖が広まっている。「死」が、誰の目にも身近なものになったのだ。

「共存」を目指す 放射能と新型コロナウイルスは、今の科学力では容易に克服できないという点で似ている。震災の日、長崎大学熱帯医学研究所の山本太郎教授による「感染症と社会 目指すべきは「共存」」（朝日新聞、本年三月十一日）を得た。山本教授は「感染症については撲滅よりも『共生』『共存』を目指す方が望ましい」という。病原体にとって感染した宿主である人間を殺すのは自らの死を意味するので、潜伏期間が長期化し、弱毒化する傾向があるという。医師として患者を救うことが最優先なのだが、今は徹底した感染防止策をとり、感染の速度を遅くし、「人類が集団としての免疫を獲得する」ことを目指すべきと述べる。そして、新型コロナウイルスはそれ自体の被害よりも、感染拡大という情報自体が社会や生活へ与える影響を危惧する。



真宗大谷派『真宗』2020年6月号

山本教授の知見により、抗生物質など近代医学が存在しなかった時代の人間が、疫災を生き抜いてきたことを想うと、ウイルスとの「共存」という道もあるのかもしれない。すると今は、人間が免疫を獲得するまで、あるいは「共存」が可能になるまで、どれだけの時間が必要なのか分からないが、感染を避けるための用心を続ける時である。もし感染するとしても、一人一人がその日を一日でも先にのばすことで、少しでも医療現場の負担軽減に協力したい。

今、日本は二つの「法律による緊急事態宣言」の狭間にある。新型コロナウイルスの災禍がいつまで続くのか、今はまったく先が見えない。ワクチンが開発されるのかもしれないし、人間が生存する限り終わらないのかもしれない。

しかし、原発被災地の人々は、放射能に用心しながら、様々な風評を受けながら、この土地で生きてきた。そのことを想い起せば、震災と原発事故による複合災害と、新型コロナウイルスによる疫災という違いはあっても、自分が被災者となった時の生き方はこの人たちが教えてくれている。これほど心強いことはない。



「剋念してうまれんとねがうひとと、またすでに往生をえたるひと、すなわち正定聚にいるなり。これはこれ、かのくにの名字をきくに、さだめて仏事をなす。」（親鸞「一念多念文意」）

この「剋念してうまれんとねがう」の「剋」には「定める」「打ち勝つ」の意味もありますが、ここでは「刻みつける」を意味します。聖人がこの「剋」に「エテトイフ」と左訓を付したのは、浄土という真実の世界のいわれをこころに刻みつけることには「得る」の意味もあることを教えたものでしょう。

被災地の外にいては、大災害の状況や復興の様子は伝えられても、そこに人が生きていたこと、今も生きている人がいることまでは見えてきません。被災地のありのままを見てほしい、どこにいても忘れないでほしい。「心に刻む」というテーマには、この集まりが、それぞれの立場を越えていける「場」となることが期されています。

今年の震災の日、原町別院（福島県南相馬市）では「勿忘の鐘」に先だって、震災七回忌を祈念して作成された「表白」の拝読がありました。

全国に鳴り亘るわた勿忘の鐘の響きが、十方にただよびする微妙の音となり、浄土往生の願いを共にせんことを

この鐘の音は、追悼の音ではなく浄土の響きであり、復興像を模索しながら生きる人々と、ともに往生浄土の道を歩んでいこうという願いが、その覚悟が「表白」として記されています。

刻みつけること、忘れないことが、浄土からの呼びかけであることを、聖人の言葉からあらためて思い起こしておきたいと思えます。



災害伝承——あの日の体験を未来へ伝える

「仏教の視点から」

御手洗隆明
みたらいたかあき

真宗大谷派教学研究所研究員

被災地の記憶を刻み続ける。

伝承の場

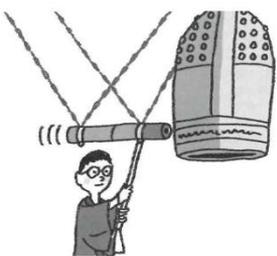
東日本大震災(3・11)の被災地を巡ると、さまざまな形でその土地に残された災害の「記憶」と出会うことがあります。過去に発生した災害を石に刻んだ「自然災害伝承碑」。被災した当時の状況をそのままの姿で保存した「震災遺構」。被災地域の折りの場所であったものが整備され、あるいは復旧工事を終えた場所の公園や学校の一角に新たにつくられた「慰霊施設」。また震災七回忌の頃より各地につくられるようになった「伝承館」¹「モリアル博物館」²などが知られています。いずれの遺構や施設も、災害の記憶を未来へ伝承するためにそこにあるものです。

震災遺構はそこで何があったのかを物語り、慰霊施設に置かれた碑文などモニユメントに刻まれた災害の記録には、被災当事者やそこを訪れる人、そして未来世代へ伝えたい大切な何かが刻まれています。伝承館は、3・11についての資料収集と記録、そして地域の情報拠点となることを目的とした国や自治体などの施設です。

福島県双葉郡浪江町請戸の町営大平山霊園にある石碑「浪江町東日本大震災慰霊碑」には、犠牲者の名前とともに、「あの日」のことが刻まれています。浜通りでは東京電力の原発が爆発事故を起こした翌十二日も「あの日」です。津波がやってきてのみ込まれた集落とその時間。翌日の原発事故で全住民が強制避難となり、捜索を断念せざるをえず、「182名の願い命」が失われたこと。

この数字には、原発が無ければ救えたかもしれない人命と行方不明者が含まれています。この碑文は災害についての事実と失われた命への痛みを、そして「災害は再び必ずやってくることを忘れてはならない」という叫びを刻むのです。

この石碑がある請戸には、わずかな希望も伝えられています。大平山の眼下に広がる津波被災跡のなかに見える町立請戸小学校の校舎は、昨年10月に震災遺構として公開されました。海岸から500メートルに位置する請戸小には、「あの日」、児童77人と教員がいましたが、日頃から大平山を避難場所として続けていた訓練通り約2キロを走り、全員無事に避難しました。突然の災害時に



特別なことはできません。日頃からの備えがあったからこそ悲劇を防ぐことができた、そこに希望があります。この場には、やがてくる災害への備えがあるのか、何よりも「あなたにとっての大平山はどこですか」という問いかけがあります。

このような碑文の前に立てば、刻まれた言葉やどのように受けとめたのか、否応なしに問われてきます。たとえ、すぐに何かを変えられることができないとしても、受けとめたありのままを伝えることはできるかもしれません。碑文は、この地にとっても重い区切りがあったことを語るのです。「災害伝承」とは、このようにして始まるのかもしれない。

真宗門徒の記憶

近年になって、各地に伝わる自然災害伝承碑の発掘や伝承館建設が国などによって進められています。いずれも災害を忘れないために、文字や映像などの形として未来へ伝えるための事業です。

ところが、土地の記憶や宗教的伝統のなかで、災害復興が伝承された事例があります。その一つが相双地方に伝わる「真宗移民」の記憶です。この地方の真宗門徒の多くは、約二百年前より北陸

など真宗優勢地帯から移民した門徒農民の子孫とされ、この地で飢饉からの復興に尽力し、やがて相双地方には多くの真宗寺院が誕生しました。昔話になりかけていたこの記憶が、3・11をきっかけに思い起こされ、真宗移民をテーマにした相馬親鸞教室の開催(仙台教区教化委員会「あの日から、そしてこれから」2019年)、また多くの真宗寺院が協力した記録映画「青原さとし監督」³「土徳流離」⁴(2015年)の制作につながります。

この映画が映像化した、真宗の歴史を伝えてきた真宗門徒の多くは原発災害で故郷を失いました。今や「流離」は、被災地に限らず「過疎」として日本中で起こっています。どこで生きるのであっても、真宗の生活を受け伝えることができるのか、真宗移民の歴史は問いかけています。

伝承のはじまり

3・11の翌年より、震災の日の追悼法要において、仙台教区や被災地に心を寄せる寺院では、「勿忘の鐘」が撞かれるようになりました。それぞれの場所、鐘を突き、静かに合掌して「あの日」のこと、被災地のことを思い起こす。鐘の響きを感じる事で、忘れようもないこと、想い、遠く離れていてもつながりを感じる。この鐘の音は、追悼の音のみではなく浄土からの響きなのです。

復興像を模索しながら生きる人々と、共に往生浄土の道を行んでいくこと、心に刻みつける。碑文や施設のような形はなくても、心に刻んだ人々によって、日々勤まる法要の一つとなることで伝承されていく。災害で別の世界になったとしても、真宗に生きる人がいる限り、容易に消えることはない。災害と人口減の国となった日本にとって導きとなるような伝承を、これからの真宗門徒の歴史を、浄土真宗は残せるのでしょうか。

今、全国に鳴り亘る勿忘の鐘の響きが、
十方に届する微妙の音となり、
浄土往生の願いを共にせんことを

出典／勿忘の鐘・東日本大震災七回忌法要「表白」

みたらいたかあき

¹1964年大分県生まれ。大谷大学大学院文学研究科修士。博士(文学)。真宗大谷派九州教区別府大分組了急寺候補衆徒。真宗大谷派議員。現在、真宗大谷派教学研究所研究員。宗教者災害支援連絡会世話人。



謝

辞

- ご清聴まことにありがとうございました。
衷心より厚く御礼を申し上げます。